

伝統遊具づくり 割りばし鉄砲

「割りばし鉄砲」は、町のそば屋さんで割りばしが使われるようになり、ゴムが輸入されるようになった明治時代に考え出され、昭和の初期に流行した遊具です。身近な材料で手軽に作れ、スピードのある弾を遠くまで撃つことが出来るため、男の子の戦争ごっこには欠かせない遊具の一つでした。

材料：割りばし(2膳と1本)・凧糸(35cmを5本)・輪ゴム

※タコ糸がなければ輪ゴムでしばっても可能

道具：小刀(切り出しナイフ)・はさみ

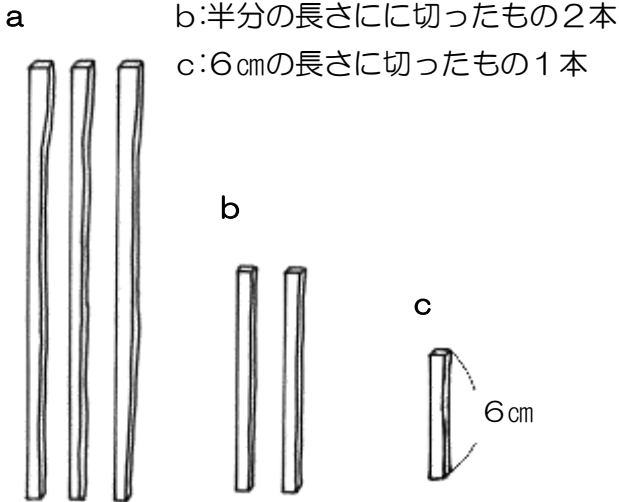
《作り方》

1. 材料の割りばしを準備する。

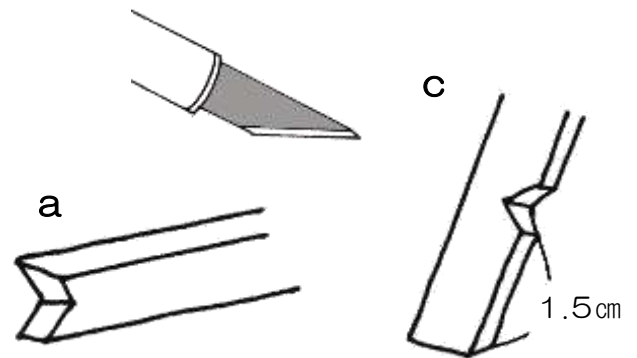
a:割ったままのもの3本

b:半分の長さにしたもの2本

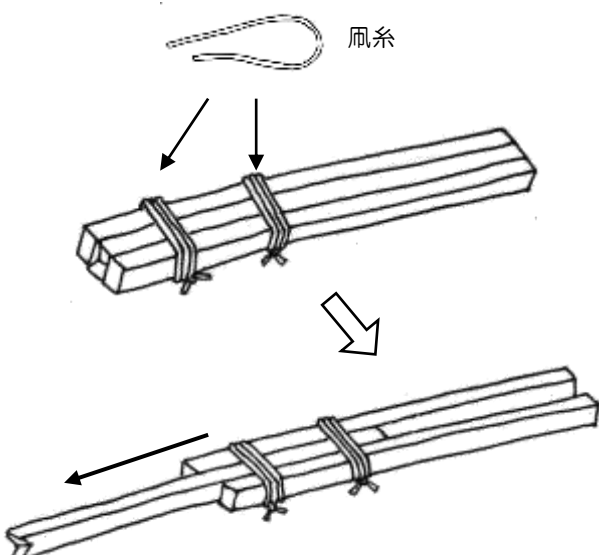
c:6cmの長さにしたもの1本



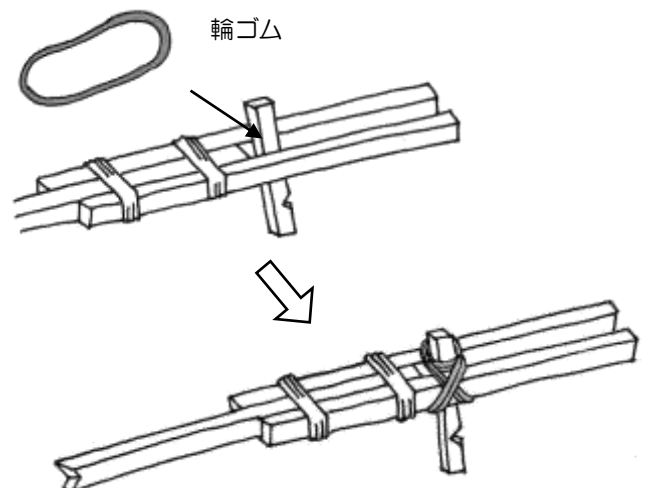
2. aのうち1本の先端と、cの端から1.5cmくらいのところに小刀(又はカッター)でV字の切り込みを入れる。



3. 切り込みを入れたaの割りばしを中心に3本並べ、凧糸で2ヶ所しばる。中心の割りばしは、半分くらい前に引き出しておく。

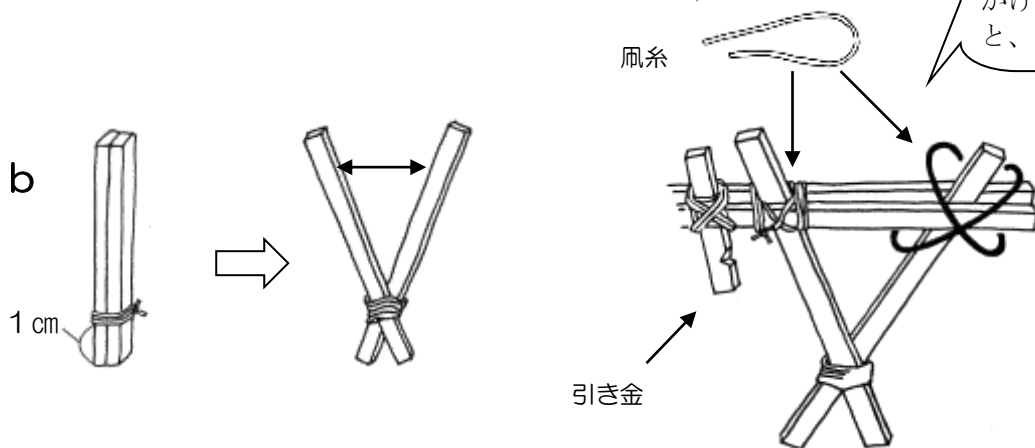


4. 3で前に引き出した割りばしの後ろに、cの割りばしを切込みが下になるようにさし、輪ゴムでまいて固定する。(引き金となる)

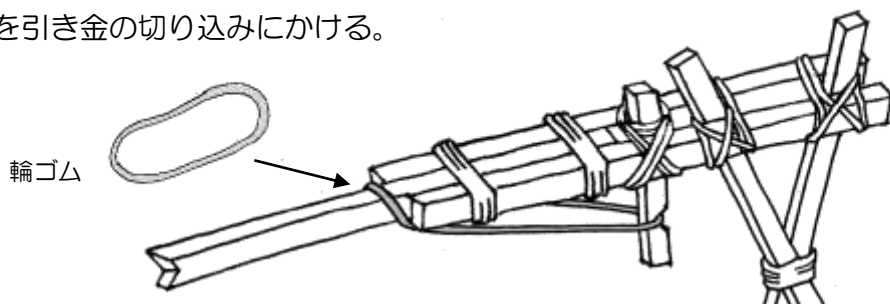


5. bの割りばしを2本並べて下から1cm位のところを尻糸でしばる。
V字に開き、引き金の後ろに下からさしこみ、尻糸でしばって固定する。

たて・よこ・ななめと、
いろんな角度から尻糸を
かけるようにしてしばると、
ゆるみづらいよ！



6. 図のように輪ゴムを引き金の切り込みにかける。



《遊び方》

弾になる輪ゴムを先端の切込みから引き金の上部分に引っ掛け、
的に狙いを定めて引き金を引きます。
弾の飛距離や命中度を競って遊ぼう！

